

**製品名: DBH ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09813**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	69kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DBH
別名	DBH; Dopamine beta-hydroxylase; Dopamine beta-monooxygenase
遺伝子 ID	1621.0
SwissProt ID	P09172
免疫原	抗血清はヒト DBH 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 401-450

**背景**

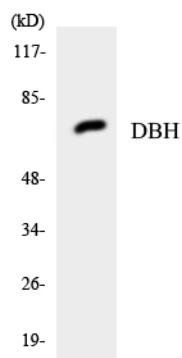
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、銅 II 型アスコルビン酸依存性モノオキシゲナーゼファミリーに属する酸化還元酵素である。交感神経節後ニューロンのシナプス小胞に存在し、ドーパミンをノルエピネフリンに変換する。シグナルペプチドの有無に

応じて、可溶性型と膜結合型の両方で存在する。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: 3,4-ジヒドロキシフェネチルアミン + アスコルビン酸 + O(2) = ノルアドレナリン + デヒドロアスコルビン酸 + H(2)O.,補因子: サブユニットあたり 1 個の PQQ に結合する。 , 補因子: サブユニットあたり 2 個の銅イオンに結合する。 ,疾患: DBH の欠陥は DBH 欠損症[MIM:223360]の原因である。ノルエピネフリン欠損症またはノルアドレナリン欠損症とも呼ばれる。この疾患は、自律神経系および心血管機能の重大な障害を特徴とするが、中枢神経系機能障害の兆候は、たとえあったとしてもごくわずかである。 ,機能: ドーパミンからノルアドレナリンへの変換。 ,誘導: 神経成長因子 (上頸部神経節および副腎髄質) によって活動が促進される。レセルピン、アセチルコリン、およびグルココルチコイドによるシナプス伝達刺激。 ,オンライン情報: ドーパミン β 水酸化酵素への進入。 ,経路: カテコールアミン生成; ノルアドレナリン生成; ノルエピネフリンからドーパミンへの変換: ステップ 1/1。 ,多型: DBH には、Ala-318 を持つ DBH-A と Ser-318 を持つ DBH-B の 2 つの主な対立遺伝子があります。 ,類似性: 銅 II 型アスコルビン酸依存性モノオキシゲナーゼ ファミリーに属します。 ,類似性: 1 つの DOMON ドメインを含みます。 ,サブユニット: 2 つの非共有結合したジスルフィド結合二量体からなるホモ四量体。 ,

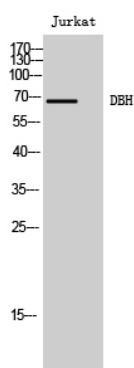
## 研究分野

チロシン代謝;

## 画像データ



DBH 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。



DBH ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウエスタンブロット解析